

事業報告書

【国際競技大会開催助成】

助成事業細目	国際競技大会開催事業			
助成事業者名	公益財団法人全日本柔道連盟			
事業名	グランドスラム東京2017			
事業の成果	<p>国際柔道連盟が主催するグランプリシリーズの中でも、トップレベルに位置づけられる4大大会（グランドスラム）の一つを、国際柔道連盟の指導を受け運営を行うことで、多数の係員が国際大会の運営ノウハウを吸収し、2020年の東京オリンピックに向けた人材育成に繋げることができた。国際柔道連盟からも、昨年同様に「世界トップレベルの運営」との評価を頂くこともできた。今後も、国際柔道連盟の運営理念を深く理解し、2020年東京オリンピックの運営に向け、運営ノウハウの取得及び人材育成を進めるとともに、日本の伝統文化である柔道を国内及び世界における更なる普及・発展に寄与したい。</p> <p>なお、本年度の大会はテレビ局側から、1日に実施する階級数を多くすることで、テレビ放映で注目選手を取り上げやすくなるとの要望により、例年の3日間開催から2日間開催へ変更となった。結果、視聴率は昨年と比較すると上がったものの、国際柔道連盟から当該大会は3日間開催が推奨されているため、来年度の大会では、3日間開催に戻す予定である。</p> <p>【テレビ視聴率】 1日目：5.6%、2日目：4.2%</p>			
事業に対する評価	<p>本年度の大会は例年の3日間開催から2日間開催に変更となったことから、一概に比較はできないが、結果は以下の通りとなった。</p> <p>【前年度大会との比較】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム販売数：（昨年）1,185冊 （本年）2,540冊 ・観戦者数：（昨年）10,603人※3日間開催 （本年）8,365人※2日間開催 ・平均視聴率：（昨年）3.1% （本年）4.9% <p>今大会では昨年から引き続き、①大会後の国際合宿（東京キャンプ）開催、②サイン会の開催、③お茶ブース、着物の着付け教室を設け、外国人に日本文化へ触れて頂く機会を提供するイベントの開催を行った。前年の大会と比較すると開催期間が3日間から2日間に変更となったものの、初日にチケットが完売し、入場者数も2日間で8,365人と非常に盛況であった。当該大会は、日本で唯一の国際大会であり、今後、東京オリンピックに向けて、人材育成、顧客サービスの向上のため、検討を重ねていきたい。</p>			
事業の実施方法	大会実行委員会への委任（事務委任等）の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		※大会実行委員会への委任（事務委任等）が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること
	委任先の組織名称			
	委任先への支出	支出形態	支出額	円
実施した事業の内容	事業実施期間	平成 29 年 12 月 2 日 ～ 平成 29 年 12 月 3 日		
	開催会期	平成 29 年 12 月 2 日 ～ 平成 29 年 12 月 3 日 (2) 日間		
	大会主催者	国際柔道連盟		
	開催場所	東京体育館		
	事業規模	参加国数	開催事業費	閣議了解の有無
		60 カ国	171,840,192 円	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試合形式 男女14階級による個人トーナメント戦 2. 試合日程 12月2日（土）男子3階級（60kg級、66kg級、73kg級）、 女子4階級（48kg級、52kg級、57kg級、63kg級） 12月3日（日）男子4階級（81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級）、 女子3階級（70kg級、78kg級、78kg超級） 3. 宿泊、輸送体制 選手団、運営役員等は全て公式ホテルを手配し、宿泊 空港⇒公式ホテル⇒試合、練習会場間の輸送はシャトルバスを運行 4. 警備体制 警備会社等により、会場内外の警備および入場制限エリア等の区分警備を実施 5. 告知、広告等 テレビ東京が大会を放映し、それに伴う告知、広告制作等を実施 		

事業報告書

【国際競技大会開催助成】

助成事業細目	国際競技大会開催事業			
助成事業者名	公益財団法人全日本柔道連盟			
事業名	グランドスラム東京2017			
組織運営体制 関係機関との連絡体制	【事業の実施体制】 総務部：大会運営統括、出納管理、プログラム販売、関係者受付、来賓案内、糧食 競技部：競技進行、記録、選手誘導、審判員管理、式典、計量、警備会社との配置調整、会場警備、練習会場管理 渉外部：外国チーム受入（招聘状、エントリー管理）、宿泊・輸送 広報部：報道機関対応、テレビ局との調整 医療衛生部：マットドクター管理、病院、消防への連絡調整 ドーピング・コントロール部：IJFドクター・JADAとの連絡調整			
	事業計画及び実績	年度当初計画	実績	
		ボランティア数	0 人	0 人
		観戦者数	11,000 人	8,365 人
		メディア露出数	150 回	174 回
助成金以外の事業収入	94,530,000 円	104,311,378 円		
大会に関する広報活動 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> テレビCM <input checked="" type="checkbox"/> 広報媒体への掲載 <input checked="" type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> その他 ()			
情報公開	助成金の使途に関する情報の公開 並びに	情報の公開方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由： ()	
		公表した内容 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由： ()	
事業実施後に参加者等に対する 満足度調査を行ったか	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法		
備考				